

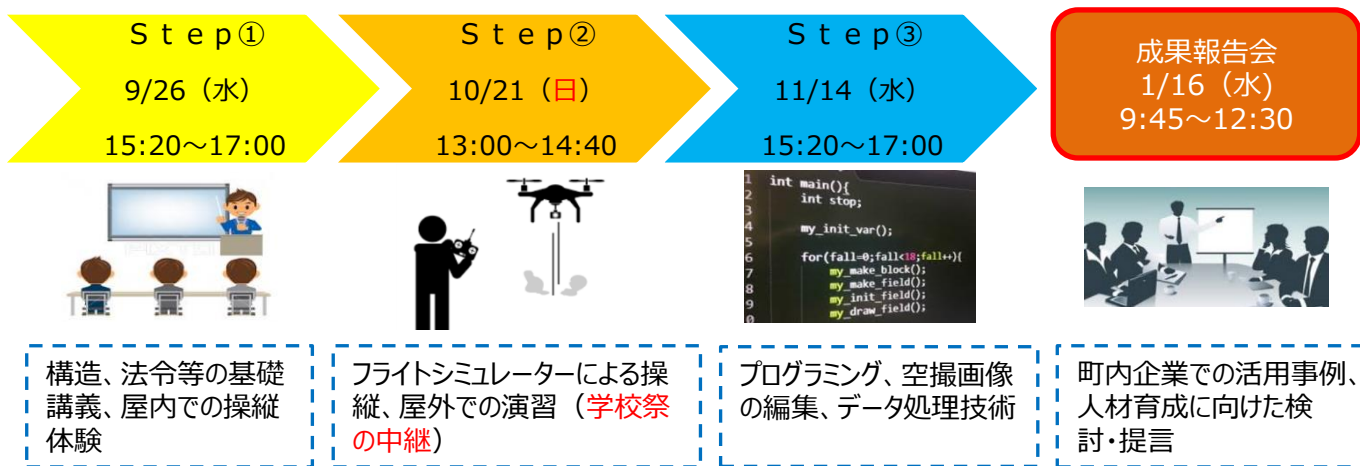
福島県・川俣町の新産業を高校生が創造する 川俣高校の生徒11名が参加し、「川俣町ドローンスクール」を開催！ ～9月26日（水）に第1回目の講義を実施～

高品質の絹織物や「川俣シャモ」などの生産地として有名な川俣町にある川俣高等学校（所在地：福島県伊達郡川俣町、校長：山内 義美）で、2018年9月26日(水)に「川俣町ドローンスクール」の第1回目講座が開催されます。

「川俣町ドローンスクール」は、川俣町で新産業創出に向けて、自治体、企業、高校の連携を強化し、新産業へ対応できる人材育成に取り組み、地元での事業に活用できることを目指して実施するものです。9月26日（水）の第1回目を皮切りに、11月までで合計3回の講座を開催します。11月21日（月）には本スクールを通じた成果発表会を行い、ドローンスクールを通じて学んだ内容をどう事業に活かしているのか、高校生の視点で検証をする内容になっており、若い意見が取り入れられる非常に期待の持てるプログラムになっています。

なお、この事業は川俣町商工会や学校同窓会などが集まって結成されている「川俣町の新産業創造を考える会」が主催となって進めるもので、「平成30年度地域経済産業活性化対策費補助金（久井12市町村における地域のつながり支援事業）」の採択を受け、福島県や川俣町、福島県産業振興センター、福島民報社、福島民友新聞社の後援を受けて推進していくものです。一般社団法人福島新エネルギー総合研究所（所在地：福島県郡山市、理事長：内田 章）から講師を招き、講座を実施いたします。

■講座の予定



■川俣町について



川俣町公式キャラクター
「小手姫様」

川俣町は、東北の玄関口、福島県北部に位置する阿武隈山系の丘陵地帯にあり、里山と清流に囲まれ、四季折々の素晴らしい眺めがあります。川俣特産の羽二重は江戸から昭和初期までの日本の近代化を支え、現在も世界一薄いシルクとして国内外問わず愛用されています。農業の分野では、米や野菜、花の栽培が活発で、近年は福島県のブランド認証地鶏である「川俣シャモ」が注目されています。その他、からりこフェスタやシャモまつり、国内最大のfolklore・フェスティバル「コスキン・エン・ハポン」など、毎年多くのイベントが開催されています。